

報 道 配 布 資 料

平成21年(2009年) 9月 9日

所 属 名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連 絡 先
山口県立大学	学長 え さと けんすけ 江里 健輔	附属地域共生センター所長 あかばね きよし 赤羽 潔	附属地域共生センター むらなか ゆう こ 村中 祐子	083-928-3495
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、 萩、首都圏			

1 件 名

平成21年度後期山口県立大学公開授業の開催について

2 内 容

No	授業名	概要	①期間 ②会場 ③申込方法等
1	「アジア文化論Ⅱb」	大学の授業を全公開します。 日本と中国の倫理観や道徳について 考え方や実際例、価値観の育て方な どについて、最初から最後まで英語 で解説し、英語で議論を深めます。	①平成21年10月5日(月) ～平成22年 2月1日(月) 全15回 ②山口県立大学4号館 ヒギンズ研究室 ③別添チラシ(No1)
2	「医学」	大学の授業を全公開します。 患者自身が医療を選択し決定する 「自己決定権の確立」のために、 多方面から医学・医療を学びます。	①平成21年10月5日(月) ～平成22年 2月1日(月) 全15回 ②山口県立大学本館A32教室 ③別添チラシ(No2)
3	「女性学」	大学の授業を全公開します。 女性をめぐる問題について、欧米諸 国との比較をしながら、その歴史と 現在を見てゆき、今後の課題を考え ます。	①平成21年10月6日(火) ～平成22年 2月2日(火) 全15回 ②山口県立大学4号館D15教室 ③別添チラシ(No3)
4	「異文化交流論b」	大学の授業を全公開します。 日本人と欧米人の行動様式の違いに ついて、さまざまな文化的視点から 比較検証を行います。事例をあげな がら英語で講義します。	①平成21年10月6日(火) ～平成22年 2月2日(火) 全15回 ②山口県立大学4号館D22教室 ③別添チラシ(No4)

3 問 合 先

山口県立大学附属地域共生センター

「生涯学習部門」

〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1

TEL/FAX (083)928-3495

学生と一緒に英語の授業に参加しませんか

公開授業

Moral Education in China & Japan

(アジア文化論IIb)

講師 山口県立大学 国際文化学部 教授

Marilyn Higgins (マリリン・ヒギンズ)

日本と中国の倫理観や道徳について、考え方や実際例、価値観の育て方などについて、最初から最後まで英語で解説し、英語で議論を深めます。



◎日 時 平成21年10月5日(月)～平成22年2月1日(月)
12:50～14:20

(第2回、第12回は月曜日ではないのでご注意ください。)

◎場 所 山口県立大学4号館 ヒギンズ研究室 (裏面地図参照)

◎受講料 5,000円

プログラム

回	月 日	授業項目
1	10月5日 (月)	Introduction to course コース入門
2	10月14日 (水)	Sources of Moral Guidance 道徳的な指導の源
3	10月19日 (月)	History of Moral Education in the West 西洋の道徳教育の歴史
4	10月26日 (月)	History of Moral Education in China 中国の道徳教育の歴史
5	11月2日 (月)	Focus on China - Confucius 中国への関心 - 孔子
6	11月9日 (月)	Focus on China - Lau Tsu and the Tao 中国への関心 - 道教
7	11月16日 (月)	Focus on China - Buddhism 中国への関心 - 仏教



(裏面に続く)

8	11月30日 (月)	History of Moral Education in Japan 日本の道徳教育の歴史
9	12月7日 (月)	Focus on Japan - Influences from China 日本への関心 - 中国からの影響
10	12月14日 (月)	Focus on Japan - Post-Chinese Development 日本への関心 - 中国の影響後の発達
11	12月21日 (月)	Modern Influences 現代の影響
12	1月7日 (木)	Modern Moral Influences in China 中国の現代道徳教育
13	1月18日 (月)	Modern Moral Influences in Japan 日本の現代道徳教育
14	1月25日 (月)	East meets West - Review and final discussions 東洋と西洋の融合 - 再検討と最終討論
15	2月1日 (月)	Final Discussion 最終討論

●**受講方法** 全日程の受講をお願いします。受講者には、山口県立大学公開授業受講修了証を授与します。

●**申し込み**

1) 申込先 〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1
山口県立大学附属地域共生センター生涯学習部門
TEL/FAX 083-928-3495

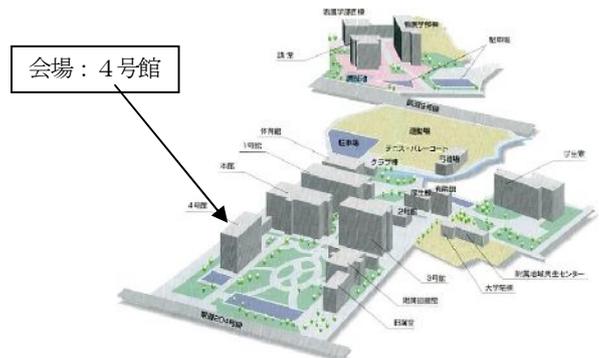
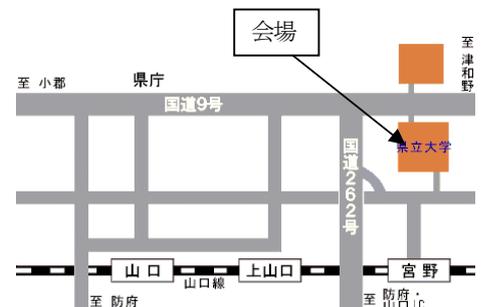
2) 方法 上記申し込み先まで、氏名・住所・郵便番号・電話番号をお知らせください。(はがき、電話、FAXでも可)

3) 締切 9月28日(月)

4) 受講通知 講座開始前頃各自へお知らせします。

♪♪この講座に関するお問い合わせは

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門
TEL/ FAX 083-928-3495



学生と一緒に受講しませんか？

山口県立大学 公開授業 「医学」



医学・医療の進歩は著しく、それに従事する人はもとより受ける人も医療の水準を知ることが大切です。また「命」は医師のものではなく患者のものであります。この授業は、患者自身が医療を選択し決定する、いわゆる「自己決定権の確立」に役立つものとなっています。そこで、人間をトータルとして捉え、多方面から医学・医療を解説するように、本プログラムは組み立てられています。

☆と き 平成21年10月5日(月)～平成22年2月1日(月) 17:50～19:20

(第2回、第12回は月曜日ではないのでご注意ください。)

☆ところ 山口県立大学 本館 A32 階段教室(裏面地図参照)

☆受講料 1回500円、10回以上5000円



プログラム

回	とき	テーマ	講座内容	講師
1	10月5日 (月) 17:50～19:20	生活習慣病 (1) がん	ガン治療の改善は、早期診断・早期治療にあり、特に抗癌剤の進歩に負うところが多い。手術、薬物療法、放射線療法、免疫療法などを組み合わせた集学療法について学ぶ。	山口県立総合医療センター 外科部長 野島真治
2	10月14日 (水) 17:50～19:20	腰痛～原因と治療法	高齢化し、退行性病変で悩む患者が増加してきた。腰椎症は最も頻度の高い疾患である。特に変形性腰椎症、腰部脊柱管狭窄症についての症状・診断・治療について述べる。	山口大学大学院 医学系研究科 教授 田口敏彦
3	10月19日 (月) 17:50～19:20	終末期医療	ガン末期治療を消化器外科疾患の立場から解説する。末期医療の現状と効果および患者の幸せとの連関について考える。抗癌剤の効果についても説明する。	山口県立総合医療センター 院長 中安 清
4	10月26日 (月) 17:50～19:20	医学倫理 ～何故必要か	命を救うためには、第三者には容認出来ない事象を取扱うことが医療人に許されている。このため高い倫理が求められる。一般倫理と異なる医学倫理の特殊性を学ぶ。	山口大学大学院 医学系研究科 教授 谷田憲俊
5	11月2日 (月) 17:50～19:20	医療における薬剤師の介入	薬剤の開発・進歩による医学・医療の貢献およびそれがもたらす副作用、薬害について考える。医療における薬剤師の役割および日本の薬剤師の現状について述べる。	元山口県薬剤師会 専務理事 西本哲明
6	11月9日 (月) 17:50～19:20	生活習慣病 (2) 脳を守る	長年の生活習慣により脳への危険が迫り、やがて脳卒中や認知症となって症状を出す。脳を守る自然のメカニズム、病気による破壊、医療が行う方法について解説する。	山口県立総合医療センター 主任部長 山下哲男
7	11月16日 (月) 17:50～19:20	臓器移植	機能不全に陥った臓器を正常な臓器に取り替える技術とそれに伴う社会問題を考える。脳死移植、心停止後移植、生体移植の違いを解説し日本での実情を述べる。	下関済生会病院 泌尿器科部長 上領頼啓

8	11月30日 (月) 17:50～19:20	乳がん～ 早期診断・ 治療	本邦では生活の欧米化で乳がん患者が急増したが、早期診断・治療により予後は必ずしも悪くない。近年の診断法、治療法および乳がん発生の危険因子について解説する。	山口大学医学部 付属病院臨床試験支援センター 助教 長島由紀子
9	12月7日 (月) 17:50～19:20	救急医学 ～ここまで 知って欲しい	救急医療では幅広い患者、重症患者に対応する高度の医学知識が要求される。救急医療の社会的意義、各種疾病や病態の把握、重要臓器の機能維持法や保護法を学ぶ。	山口大学大学院 医学系研究科 教授 医学部長 前川剛志
10	12月14日 (月) 17:50～19:20	生活習慣病 (3)糖尿病	糖尿病は食生活の欧米化による現代病である。多くの糖尿病は生活習慣をコントロールすることで予防出来る。糖尿病よりも糖尿病で生じる合併症が致命となる。	山口県立総合医療センター 主任部長 井上康
11	12月21日 (月) 17:50～19:20	再生医療	生命は限られている。永遠に生き長らえることは人の夢である。細胞を再生出来ればこの夢がかなう。再生医療の現状を紹介し、社会にもたらす影響を検討する。	山口大学大学院 医学系研究科 教授 濱野公一
12	1月7日(木) 17:50～19:20	不妊治療	不妊症の定義および不妊治療の現状について解説する。不妊治療の進歩と法規制およびそれに伴い発生する倫理的諸問題、治療へのサポートについて理解を深める。	山口県立総合医療センター 産婦人科部長 中村康彦
13	1月18日 (月) 17:50～19:20	癒しの医療	医療との係わりが長くなるにつれ、機械的な医療が疎まれ心のこもった医療を求める。癒しの医療に足りないもの、配慮すべきことについて体験を踏まえて述べる。	山口県議会議員 藤井律子
14	1月25日 (月) 17:50～19:20	ストレスと 鬱病	本邦での自殺者は年間3万人以上である。この中にうつ病、ストレスを有した人がかなり存在する。ストレスとは何か？うつ病とは何か、両者の関係について述べる。	財団医療法人水の木会 理事長 水木泰
15	2月1日 (月) 17:50～19:20	生活習慣病 (4) 循環器病	日本人の生活が欧米化し、血管のしなやかさが消失し、硬くなり内腔がつまり、血液が流れにくくなったために種々な病気が発生してきた。	山口大学大学院 医学系研究科 准教授 三浦俊郎

●受講方法

部分受講も可能です。全講座の受講者には、山口県立大学公開授業受講修了証を授与します。

●申し込み

1) 申込先 〒753-8502 山口市桜畠3丁目2-1
山口県立大学附属地域共生センター生涯学習部門
TEL/FAX 083-928-3495

2) 方法

上記申し込み先まで、氏名・年齢・住所・電話番号をお知らせください。
(はがき、電話、FAXでも可)

3) 締切 9月28日(月)

4) 受講通知 講座開始前各自へお知らせします。

♪♪この講座に関するお問い合わせは

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門
TEL/FAX 083-928-3495



大学の授業を地域に公開します

公開授業 「女性学」

講師 山口県立大学 国際文化学部 教授 三宅義子

女性学は新しい研究分野で、とりわけ、ジェンダー概念――生物学的性差と区別される社会的、文化的に構築された性差――の創造は画期的と言えます。これによって、それまで自然の領域、私的領域とみなされてきた家族や女性の問題が社会科学の分析対象になり、社会と歴史の全体的把握を可能にしているからです。授業では、女性をめぐる問題について欧米諸国との比較の観点を導入しながら、その歴史と現在を見てゆき、今後の課題を考えます。



◎日 時 平成21年10月6日(火)～平成22年2月2日(火) 8:40～10:10

◎場 所 山口県立大学4号館 D15教室 (裏面地図参照)

◎受講料 1回500円、10回以上5,000円

プログラム

回	月日	授業項目	内容
1	10月6日 (火)	女性学とは	女性学の起源は1970年代初頭を頂点とする世界的な女性解放運動の台頭に求められる。この30年間の女性学の歴史を日本社会の女性の地位との関連で見ていく。
2	10月13日 (火)	女性学の射程	女性学の最大の貢献は、ジェンダー概念の創造である。この概念の定義とこれを使うことで開拓された問題領域を提示し、ジェンダー視点導入の有効性を実証する。
3	10月20日 (火)	女性学のめざすもの	階級、人種、エスニシティと並んでジェンダー概念を導入することで問題の核心に迫り得た例を現在と過去の社会問題をとりあげながら詳述する。
4	10月27日 (火)	女性労働の現在(1)	日本の女性の「労働権」は未だ確立していない。このことを中高年女性のパートタイム就労に内在する問題に焦点を合わせて見ていく。
5	11月10日 (火)	女性労働の現在(2)	VTR「彼女が会社を辞めた理由を知っていますか」を見ながら、雇用機会均等法の成立との関連で大手企業における、この10年間の大卒女性社員の問題を考察。
6	11月17日 (火)	女性労働の歴史(1)	人口に膾炙した「女工哀史」とは、日本資本主義発展の基礎を築くために女性労働者が犠牲に供された物語である。「女工哀史」をキーワードにして歴史を読み解く。

(裏面に続く)

7	11月24日 (火)	女性労働の歴史(2)	女工哀史型労働と現代のパートタイム労働者には女性労働者＝周辺労働力とみる企業の一貫した姿勢が現れている。このような視点から平等化の課題を考える。
8	12月1日 (火)	主婦とはなにか	女＝主婦という性別分業思想はいつ生まれたのか？ 女性が主婦役割をこなすことはどのような社会的機能をもっているのか？ この問いを中心に講義を展開。
9	12月8日 (火)	主婦の誕生と歴史	フリーダンの『女性の神秘』に描かれた1950年代アメリカの郊外主婦の閉塞状況とそこからの脱却が提起する問題を軸にして日本の主婦の歴史を検討。
10	12月15日 (火)	母役割について	戦前日本の女性の理想像として構築された「良妻賢母」規範の現代版は今なお女性の生き方を縛っている。母役割、母性イデオロギーなどを検討する。
11	12月22日 (火)	フェミニズムとは何か	VTR「ルッキング・フォー・フミコ」(日本のウーマン・リブ運動に関わった女性たちのインタビューを基にした映画)を見ながら、フェミニズムの意味を考える。
12	平成22年 1月12日 (火)	フェミニズムの歴史	「青鞥運動」「母性保護論争」「婦人参政権運動」「廃娼運動」など日本の女性運動の歴史を欧米との比較で見えていく。
13	1月19日 (火)	性と生殖をめぐる(1)	リプロダクティブ・フリーダム(性と生殖をめぐる自由)の獲得は、女性の人権確立の程度を計る一つの指標である。現代日本の女性の地位をこの点から問い直す。
14	1月26日 (火)	性と生殖をめぐる(2)	日本と欧米のバースコントロール(産児調節、避妊)運動の歴史を比較検討するなかで、リプロダクティブ・フリーダム実現のための課題を探る。
15	2月2日 (火)	女性学の可能性一まとめ	授業を通してジェンダー視点導入によって見えてきた社会と歴史の新たな側面を確認する。それは同時に次ぎの問題発掘への刺激になるだろう。

●**受講方法** 部分受講も可能です。なお、全講座の受講者には、山口県立大学公開授業受講修了証を授与します。

●**申し込み**

1) 申込先 〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1
山口県立大学附属地域共生センター生涯学習部門
TEL/FAX 083-928-3495

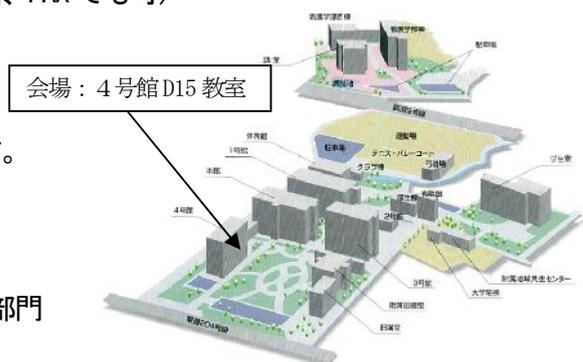
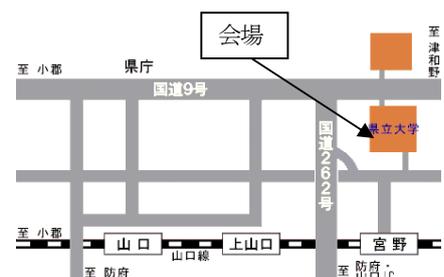
2) 方法 上記申し込み先まで、氏名・住所・郵便番号・電話番号をお知らせください。(はがき、電話、FAXでも可)

3) 締切 **9月29日(火)**

4) 受講通知 講座開始前頃各自へお知らせします。

♪♪この講座に関するお問い合わせは

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門
TEL/ FAX 083-928-3495



大学の英語の授業を公開します

公開授業

Cultural Awareness :

East Meets West (異文化交流論 b)

講師 山口県立大学 国際文化学部 准教授

WILSON Amy (エイミー・ウィルソン)



日本人と欧米人の行動様式の違いについて、さまざまな文化的視点から比較検証を行います。事例をあげての講義と楽しい会話形式で英語の授業を展開します。

- ◎日 時 平成21年10月6日(火)～平成22年2月2日(火)
14:30～16:00
- ◎場 所 山口県立大学4号館 D22教室 (裏面地図参照)
- ◎受講料 1回500円、10回以上5,000円

プログラム

回	月 日	授業項目
1	10月6日 (火)	Introduction to the Course コースの紹介・自己紹介
2	10月13日 (火)	Cross-Cultural Differences in the Home 「ホーム」は、文化の違いでどうちがうのでしょうか。
3	10月20日 (火)	Is it Personal or Cultural? I それは個人的ですか、文化的ですか。I
4	10月27日 (火)	Is it Personal or Cultural? II それは個人的ですか、文化的ですか。II
5	11月10日 (火)	Verbal Self-Disclosure どれだけ人に自分のことを良く言うかということ。
6	11月17日 (火)	Universal Culture: Does it exist? ユニバーサルカルチャー：それは存在しますか？
7	11月24日 (火)	Life Stages ライフステージ

(裏面に続く)

8	12月1日(火)	Cross-cultural Misunderstandings 異文化間の誤解
9	12月8日(火)	Gift-Giving in Japan and other cultures 日本の贈り物と他の文化での贈り物 
10	12月15日(火)	Holidays I 休日 I
11	12月22日(火)	Holidays II 休日 II
12	1月12日(火)	Language: Are we really understanding what we hear? ことばを聞いて、本当にそれを理解していますか。
13	1月19日(火)	Reverse Culture Shock I 逆カルチャーショック I
14	1月26日(火)	Reverse Culture Shock II 逆カルチャーショック II
15	2月2日(火)	Class Evaluations and Saying Goodbye クラス評価と最終回

※授業内容は変更する場合があります。

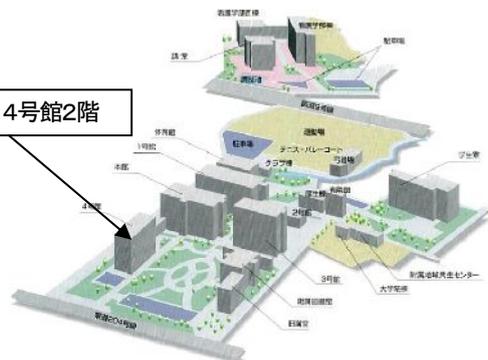
- 受講方法** 部分受講も可能です。
1回だけの受講を希望される方は、受講内容を事前に問い合わせてください。
全回の受講者には、山口県立大学公開授業受講修了証を授与します。



●**申し込み**

- 1) 申込先 〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1
山口県立大学附属地域共生センター生涯学習部門
TEL/FAX 083-928-3495
- 2) 方法 上記申し込み先まで、氏名・住所・郵便番号・電話番号をお知らせください。(はがき、電話、FAXでも可)
- 3) 締切 **9月29日(火)**
- 4) 受講通知 講座開始前頃各自へお知らせします。

会場: 4号館2階



♪♪この講座に関するお問い合わせは

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門
TEL/ FAX 083-928-3495